

企業・NPOによる教育プログラム

このようなテーマのプログラムもあります

将来設計を考える ライフプランニング授業

支援団体 ソニー生命保険株式会社 授業時間 2コマ連続

ライフプランナーが講師となり、生徒全員で、30歳の家族を想定しながら、そのライフプランを作成します。

結果は年度別収支や金融資産残高のグラフで「見える化」されます。多くのケース、最初は大赤字になった生涯の収支結果をどのように改善するかをグループで話し合います。大切なのは、あきらめずに工夫すること。本当に必要なものは何かを話し合いながら、車を買う年代を変える、働き方を考えるなど、工夫することでグラフの赤字が少なくなります。子どもの進学費用も収支を変える大きな要素であることがわかり、「教育費がこんなにかかるなんて、初めて知った。感謝の気持ちが強くなった。」という感想も出てきます。

事前に学校と打ち合わせを行い、内容や進め方について相談しながらプログラムをアレンジしていますので、学校の希望に応じて、ライフプランナーから、自分の高校時代やライフプランナーとして働く楽しさについて、話を聞くこともできます。



模擬裁判員裁判 体験授業 ～人を裁くってどういうこと?～

支援団体 一般社団法人リーガルパーク 授業時間 50分×3～4コマ×1回

一般市民が刑事裁判に参加する「裁判員制度」が始まってから今年で6年。若手弁護士らで構成するリーガルパークが提供する本物さながらの模擬裁判で、実際に“裁判員”を体験することができます。将来、裁判員に選任された場合の心構えとするとともに、裁判や刑罰の意義、現代の社会問題について、また、「正義や公正」「法やルール・きまり」について考えるきっかけとすることができます。



法廷教室

事前講義で、弁護士による刑事手続きと事件概要の説明を受けた後に、リーガルパークスタッフが演出する模擬裁判で、現場の緊張感や一連の刑事手続きを体感。学生は裁判員として被告人や証人へ質問できます。その後にグループに分かれ評議し、グループごと判決を発表します。会場は國學院大學法廷教室を利用できるほか学校内の視聴覚室などで実施可能です。また、学校の希望に応じて、検察官・弁護人体験型の模擬裁判もできます。



事前講義

地域教育推進ネットワーク東京都協議会の会員企業と一緒に、ノベルティグッズを開発

ハーゲンダッツジャパン株式会社

ハーゲンダッツと都立千早高校が「マーケティング」の授業の一環として、ノベルティグッズの開発プログラムを実施しました。開発したのは「修学旅行などでハーゲンダッツの企業訪問プログラムを受ける中高生への記念品」です。

5月から始まった授業では、ハーゲンダッツがお客様とお約束している「期待を超える喜び」という理念の説明を受けました。その後、理念を踏まえた上でアイデア出しを行い、生徒たちから「金色のスプーン」という企画が提案されました。スプーンが完成したのは11月。最終講義では、新潟県燕市の工場での手作業をしている写真や完成までのプロセスを聞き、一つのスプーンができるまでの多くの方との「関わり」と「思い」を知ることができました。

